

肝付町地域公共交通計画

～概要版～ 令和5年3月版

1. 計画の目的

(本編…P1)

肝付町では、地域の移動を支える公共交通として、路線バス（鹿児島交通）、乗合タクシー（おでかけタクシー、事前予約型乗合タクシー）、タクシーが運行している。

近年、新型コロナウイルス感染症の影響や人口減少、少子高齢化による利用者減少、事業者の人員不足等が問題となっている。

本町では、町の公共交通が抱える現状や町民の利用ニーズ、将来の課題等から最適な移動手段の確保を目的とし、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）第5条第1項の規定に基づく「肝付町地域公共交通計画」の策定を行う。

2. 計画区域及び計画期間

(本編…P1)

計画区域：肝付町全域

計画期間：令和5（2023）年度～令和9（2027）年度 [5年間]

3. 地域概況と課題

(本編…P2)

地域概況

(本編…P2)

- ・大隅半島南東部に位置し、人口は約1.4万人、高齢化率41%。
- ・2045年には人口約7,700人、高齢化率50.6%と推計。人口減少・少子高齢化が進む町。
- ・居住地や主要施設の多くは高山周辺に集積しているが、内之浦・岸良にかけて集落が分散。
- ・町民の移動手段は自家用車での移動が約9割であり、公共交通利用者は少ない。
- ・日常の行動エリアは、肝付町と鹿屋市で8割超を占めており、鹿屋市との繋がりは強い。
- ・5年前と比較して、町民の外出意欲は減少傾向。



交通概況

(本編…P17)

- ・肝付町の主な公共交通は路線バス（鹿児島交通）、おでかけタクシー、事前予約型乗合タクシー。
- ・交通事業者は深刻な高齢化・担い手不足。

路線バス（鹿児島交通）

- ⇒地域間幹線系統バス：2路線
- 廃止路線代替バス：11路線

- ・鹿児島交通は新型コロナウイルスの影響や乗務員不足、利用者の減少等で運行維持が厳しい状況。
- ・今後路線バスの減便・廃止が増加していくことを見据え、町内で残すべき路線の検討が必要。

おでかけタクシー

- ⇒令和元年9月30日より運行開始しているAI（人工知能）を使用した乗合タクシー。
- 高山エリア、内之浦エリア、岸良エリアで各エリア内の運行。

- ・予約・配車方法の改善要望等をふまえ、利用者・事業者の双方にとって使いやすい運用方法の見直しが必要。

事前予約型乗合タクシー

- ⇒路線を定めず各コースの予約状況に応じて運行している乗合タクシー。辺塚・岸良コース（内之浦方面）、岸良・高山コース（高山方面）の2コースで各4便の予約が入り次第の運行。
- ・利用者が固定化

肝付町の地域公共交通に対する4つの課題

(本編…P46)

- 課題1：幹線系統の確保、町内公共交通の維持・強化に向けた公共交通網最適化の検討
- 課題2：肝付町公共交通サービスの情報発信及び利用方法・運用方法の検討
- 課題3：コロナ禍以降の外出機会減少を止めるモビリティ・マネジメントの検討
- 課題4：AI オンデマンド先進地の更なる発展に向けた取組みの検討

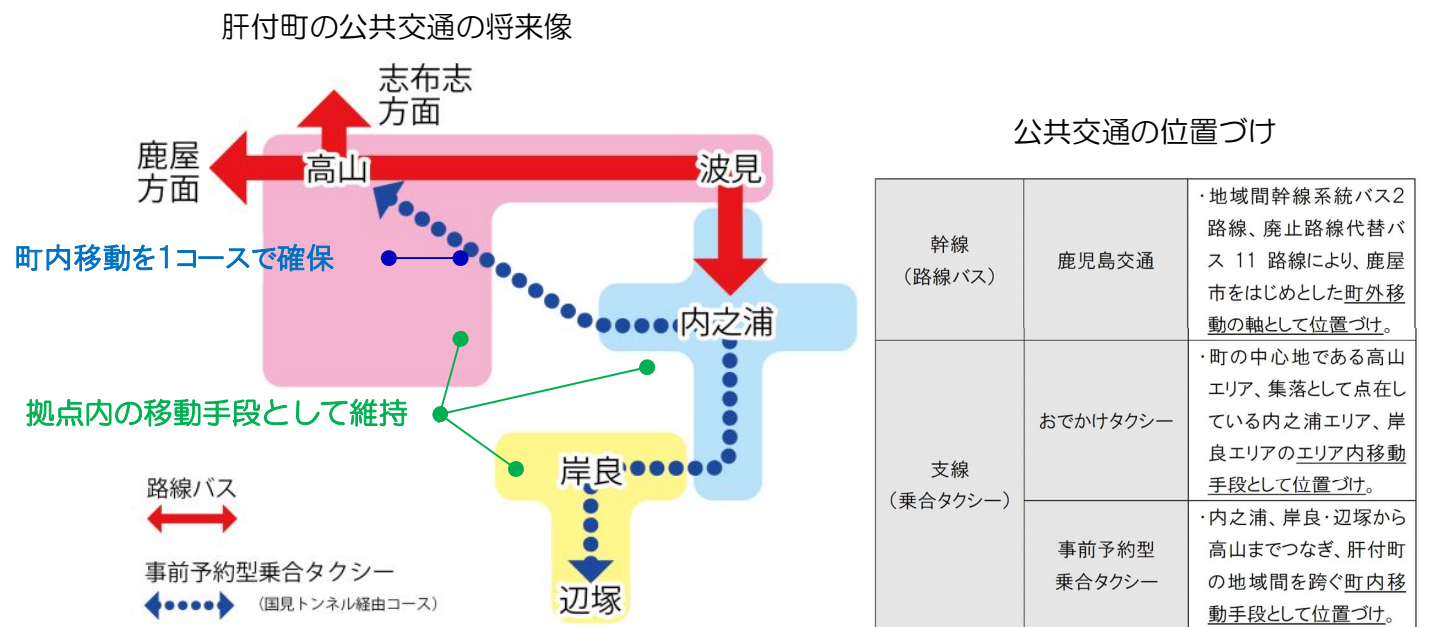
4. 肝付町の公共交通の将来像

(本編…P47)

肝付町の公共交通の将来像を以下に示す。幹線となる町外移動は路線バス（鹿児島交通）が担い、幹線に接続する支線は町内移動手段である乗合タクシー（おでかけタクシー、事前予約型乗合タクシー）が担う。

将来像における公共交通の運行エリアは、路線バス（鹿児島交通）は現状の維持・確保を優先、おでかけタクシーはエリア内移動が運行目的であることから、運行エリアは現状の維持・確保とし、ソフト面の改善を図る。

事前予約型タクシーは現在「辺塚・岸良～内之浦コース」、「岸良～高山コース」の2コースで運行しており、将来像では「高山～内之浦～岸良・辺塚」の1コースとしている。コースの統一化を図ることで、利用者にとっては便数増加・利便性向上、交通事業者にとっては運行負担削減・効率化などの効果が期待される。



5. 基本方針と課題・将来像をふまえた目標

(本編…P48)



基本方針 “地域力で支え合い共創する公共交通”



基本目標①：交通事業者同士の連携を図った移動手段の持続可能性向上

- ・路線バスの将来的な減便・廃止を見据え、幹線系統の検討を行い、町内の乗合タクシーのエリア拡大等を図り、利用者ニーズ（通院・買い物など）に沿った町内移動手段の最適化に取り組む。
- ・行政と交通事業者間の連携強化を図り、公共交通手段の維持に取り組む。
- ・交通事業者の深刻な担い手不足に対する支援策の検討に取り組む。

基本目標②：公共交通利用の新たな需要創出

- ・路線バスの時刻表や経路図の更新、乗合タクシーの利用方法の見直しなど、情報発信の強化や乗り方教室の開催などを行い、公共交通に触れる機会を増やし、需要創出に取り組む。
- ・福祉課が助成している路線バスの敬老バス助成金補助についても情報強化に取り組む。

基本目標③：公共交通デジタル先進地としての共創による更なる発展

- ・AI オンデマンドをはじめ新たなデマンド技術の活用を視野に、他分野や広域での連携を図り、交通DXに取り組む。
- ・乗合タクシー（おでかけタクシー、事前予約型乗合タクシー）の車両更新にあたって、環境に配慮したEV（電気自動車）等の導入に取り組む。



6. 基本目標を達成するための具体的な取組み及び評価指標と目標値

(本編…P49)

基本目標を達成するための施策

(本編…P49)

本計画の基本目標を達成するための具体的な取組みを施策ごとに示す。

基本目標① 交通事業者同士の連携を図った移動手段の持続可能性向上

施策①-1：肝付町内公共交通網の最適化 肝付町の公共交通網について、利用者の利便性向上や、事業者の負担削減、運行効率化等もふまえた検討・見直し

施策①-2：交通事業者の担い手確保支援 交通事業者の担い手不足が深刻であり、担い手確保支援を検討

基本目標② 公共交通利用の新たな需要創出

施策②-1：公共交通利用促進に向けた情報発信強化 乗合タクシーの認知度を上げるため、丁寧な情報発信や提供場所の増加を検討

施策②-2：おでかけタクシーの運用方法見直し 乗合タクシーの運用方法等について見直しを行い、利便性の向上を検討

施策②-3：公共交通の新たな利用者の創出 公共交通を利用していない層などを対象に利用目的づくりの検討

基本目標③ 公共交通デジタル先進地としての共創による更なる発展

施策③-1：他分野連携や広域連携の推進 AI オンデマンドを用いて、他分野や広域との連携を検討

施策③-2：AI オンデマンドサービスの見直し 行政、交通事業者間等で AI オンデマンドサービスの問題点の共有を検討

施策③-3：環境にやさしい公共交通 2050年度の温室効果ガス排出量の実質ゼロ化に向け、環境に配慮した取組みを検討

評価指標と目標値

(本編…P58)

本計画の達成状況を評価するための指標及び具体的な目標値を示す。

【評価指標Ⅰ】 町内公共交通の利用者数(おでかけタクシー、事前予約型乗合タクシー)		
現況値と目標値	現況値(令和3年度)	目標値(令和9年度)
	11,833人	12,993人
評価設定の理由 公共交通の利用促進の効果を利用者数の増減によって確認する。		

【評価指標Ⅱ】 町内公共交通の収支率(おでかけタクシー、事前予約型乗合タクシー)		
現況値と目標値	現況値(令和3年度)	目標値(令和9年度)
	12.3%	13.5%
評価設定の理由 町内公共交通の見直しにより、効率化が図れているか収支率により確認する。		

【評価指標Ⅲ】 肝付町民一人あたりの公共交通の行政負担額		
現況値と目標値	現況値(令和3年度)	目標値(令和9年度)
	1,761円	1,761円
評価設定の理由 町内公共交通の運用方法見直し等により、行政負担額についても抑制できているか確認する。		

【評価指標Ⅳ】 乗合タクシーの認知度		
現況値と目標値	おでかけタクシー現況値(令和3年度)	おでかけタクシー目標値(令和9年度)
	18.0%	29.0%
	(運行サービスまで把握している人の割合)	(運行サービスまで把握している人の割合)
	事前予約型乗合タクシー現況値(令和3年度)	事前予約型乗合タクシー目標値(令和9年度)
10.8%	21.8%	
(運行サービスまで把握している人の割合)	(運行サービスまで把握している人の割合)	
評価設定の理由 情報周知活動等により、町民の乗合タクシーへの認知度の上昇を確認する。		

【評価指標Ⅴ】 町民の外出意欲の変化		
現況値と目標値	現況値(令和3年度)	目標値(令和9年度)
	22.8%	22.8%超
	(5年前と比較して外出意欲が増加傾向と回答した構成比合計)	(5年前と比較して外出意欲が増加傾向と回答した構成比合計)
評価設定の理由 公共交通の需要創出等により、町民の外出意欲が上昇しているか確認する。		

【評価指標Ⅵ】 EV車両導入数		
現況値と目標値	現況値(令和3年度)	目標値(令和9年度)
	0台	3台
評価設定の理由 タクシー事業者で1台ずつの導入として設定する。		

7. 計画の達成状況の評価

(本編…P60)

計画の評価は、各年度実施する事業実施状況の評価(プロセス評価)、計画の中間期(令和7年度)及び最終期(令和9年度)の目標達成状況の評価(効果の評価)を行う。
評価の流れはPDCAサイクルに沿う。

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業実施状況の評価(プロセス評価)	各年度で実施				
目標達成状況の評価(効果の評価)	計画の中間期・最終期で実施			●	●